

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
フランス語Ⅱ French II		1年・2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(なし)	なし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
フランス語Ⅰ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
笹崎 綾野	福祉棟3F	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
フランス語Ⅱでは、生活文化から芸術・デザインに至るまでを幅広く学び、その中で各分野のフランス語（専門用語）に触れることを目的とする。内容としては、パリでの生活文化に視点をあて、パリの成り立ち、パリジャン・パリジェンヌの思考やライフスタイル、19世紀後半から20世紀にかけての芸術やデザインの動向について知識を深める。特に、ライフスタイルの三本柱である「衣（ファッション）・食（フランス料理）・住（主に街並みと生活）」を中心とし、フランス文化を感じ取る。				
授業の目標				
①フランスの生活や文化について興味を持つことができるようにする。 ②各分野のフランス語（専門用語）を身に付けられるようにする。				
授業の方法				
講義形式。事例紹介、調査、グループワークを取り入れる。DVD等を効果的に用いて授業を進める。				
学習の成果（学習成果）				
①フランスの文化について、知識を深める意欲を持つことができる。 ②フランスの文化に触れることで国際的視野を育み、将来の仕事や生活の視野を広げることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	フランス・パリの成り立ちと文化			
第2回目	住：パリの街と生活 1			
第3回目	住：パリの街と生活 2			
第4回目	住：パリの街と生活 3			
第5回目	住：パリの街と生活 4			
第6回目	食：食文化とマナー 1 「チーズとパン」			

第7回目	食：食文化とマナー 2 「伝統菓子」	
第8回目	食：食文化とマナー 3 「ワイン」	
第9回目	食：食文化とマナー 4 「フランス料理」	
第10回目	衣：フランスファッションの歴史	
第11回目	衣：現代服の成り立ちとその周辺 1	
第12回目	衣：現代服の成り立ちとその周辺 2	
第13回目	衣：都市とファッション（パリ・ストリートファッションの成り立ち）、レポート課題発表	
第14回目	衣：パリコレクションの実際（DVD鑑賞）	
第15回目	まとめ、レポート発表・提出	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	遅刻、欠席がなく、積極的に授業に参加している。出席点、授業態度を評価に加える。
レポート	50%	レポート（第15回）について、テーマに関する考察がなされ独自の視点が述べられているか、期限内にレポートが提出されているかを評価する。レポート課題は、第13回目に提示する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	20%	レポート発表（第15回目）については、レポート課題の内容を発表する。レポート課題に意欲的に取り組んでいるか、内容を時間内に分かりやすく説明できているか、発表態度が適切かを評価する。
その他	10%	授業内のグループワークにおいて、積極的に課題に取り組んでいるかを評価する。
教科書と参考図書		
なし(必要に応じて、プリントを配布する)		
履修上の留意点・ルール		
グループワークを含む為、原則、欠席・遅刻を認めない(やむをえない場合は、2/3以上の出席とする)。遅刻、忘れ物、飲食、私語、携帯電話の使用等を禁ずる。		